

長岡 思いのほか(神林さん) おすすめ!!

思いのほかカレッジ2013

農と食で長岡の未来を元気に!

思いのほかは、「長岡を食で慣れ親しんでもらい、長岡を好きになってもらいたい」と様々な活動をしています。

「まちキャンに農村風景出現!」プロジェクト

日時 11/9(土)~24(日)

わら細工やかカン、農業についてのメッセージを記したパネルを設置し、農業を身近に感じてもらえる展示を行います。

会場 きおくみらいホール まちなかキャンパス長岡301

主催・お問い合わせ先 きおくみらい長岡震災アーカイブセンター(日野) TEL:0258-39-5525(10:00~18:00 火曜日休館)

green drinks Nagaoka vol.3~長岡農×食みらい~

日時 11/10(日) 11:30~13:30

参加費 大人1,200円、小学生以下800円

長岡の今後を担う「子ども」を軸に長岡の農と食について楽しく学び、飲み食べしながら交流するお茶会を開催します。特に農や食に興味のある女性、ママさん、お越しください!



思いのほか・神林さん



長岡 NPO法人 新潟ブルーサークル(柳原さん) おススメ!!

「世界糖尿病デー in パティオにいがた」



「道の駅 パティオにいがた」をブルーに照らします!

11月14日は糖尿病について理解を深める「世界糖尿病デー」です。糖尿病啓発シンボル「ブルーサークル」を広場に浮かび上がらせましょう!来場者参加型の点灯式も行います。事前申込は不要、来場者には無料でスープを提供します(数に限りあり)。

日時 11/14(木) 17:00~19:00(点灯式17:30~) ※雨天決行

会場 道の駅 パティオにいがた

主催・お問い合わせ先 NPO法人 新潟ブルーサークル(柳原) TEL:0258-66-2140



世界糖尿病デーのマーク



長岡 ココロを学ぶ会(高橋さん、横山さん) おススメ!!

「発達障害児の実践家庭療育」講演会



教えよう!伸ばそう!楽しもう!

ココロを学ぶ会は、自閉症療育の1つである「ココロメソッド」を身近で学び・実践してみようとして活動しています。今回の講演では発達障害のお子さんを育てた経験のある講師・高島陽子さんが親の立場から家庭で出来ることやるべきことなど、子育ての極意をテーマに家庭療育についてお話します。来場者全員で考えながら、情報交換しましょう!

日時 11/23(土) 受付12:30~ 講演13:00~15:00

会場 アオーレ長岡西棟3階 協働ルーム

参加費 500円 定員 100名

申込締切 11/18(月)まで

主催・お問い合わせ先 ココロを学ぶ会(高橋) TEL:090-6626-2296



長岡 ぶれジョブながおか(品田さん) おススメ!!

ぶれジョブ新潟フォーラム IN 長岡



ぶれジョブってなに?

ぶれジョブとは、障がいのある子どもたちが自分の住む地域で、ボランティアのサポーターと一緒に企業で仕事体験をする活動です。今回のフォーラムは、ぶれジョブ発案者である西幸代さんの基調講演、障がいのある子どもたちを交えた劇による概要説明など、ぶれジョブの原点を考える内容になっています。子どもたちを中心にぶれジョブの活動がじわじわと広がっていきかけとなればと思っています。

日時 11/30(土) 会場 長岡リリックホール シアター

定員 450名 ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

主催・お問い合わせ先 ぶれジョブながおか(品田) TEL:080-2010-1368



らこってを配布しています! ▶▶▶

長岡技術科学大学、まちの駅よいた、道の駅良寛の里わしま、川口きずな館、道の駅とちお、寺泊きんばちの湯、まちなかキャンパス ほかに市内公共施設

編集後記 今回1、2ページで取り上げた基板事業はそれまで、利用者や職員の家族の家のものを解体したり、施設の外壁に広報チラシを貼ったり、企業へ飛び込みで回収依頼に行ったりしていたそうです。家の中をちょっと探せば使わなくなったパソコンや小型家電などありそうですよね。あなたの家にも眠っていませんか。ぜひ有効活用してもらいましょう!

らこま FREE 2013.11.1 (vol.20)

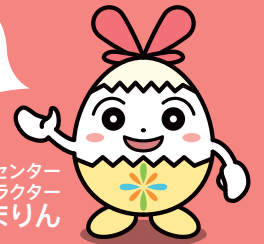
【発行】ながおか市民協働センター
〒940-8501 長岡市大手通1丁目4番地10
シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F ながおか市民協働センター
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900
Mail. kyodo-c@ao-re.jp URL. http://nkyod.org



今月の活動紹介 小型家電を解体して、障がい者の収入へ。



基板事業とは?



ながおか市民協働センター
マスコットキャラクター
たまりん

NPO法人 希望の会福祉会・のぞみの家では、基板事業を今年の4月から始めています。この事業は地域活動支援センター「のぞみの家」で、不要になったパソコンや小型家電の寄付を募り、それらを解体。出てきた基板や希少金属などを売却し、障がい者の収入アップにつなげるものです。毎日2~3名の方々が解体作業を行っています。



中之島地域でも「虹の家」で行っています。



プリンターを持ってきました。



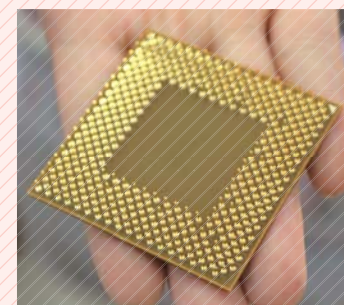
丁寧に部品を分解します。

事業実施に至る背景

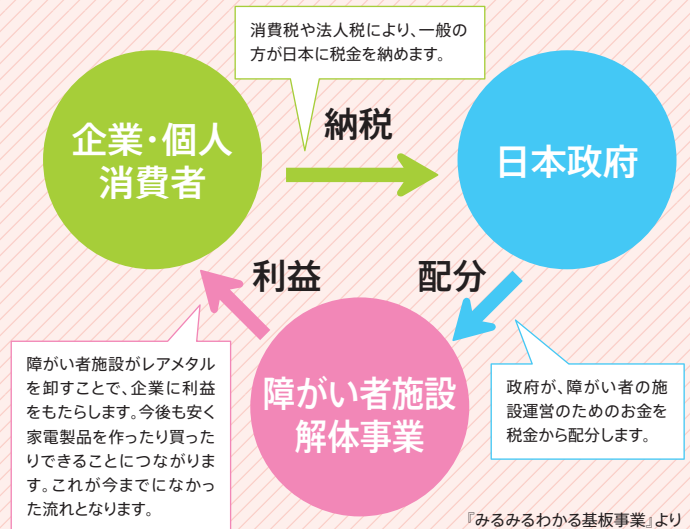
そもそも小型家電のリサイクルは業者が回収し、海外で分解していました。なぜなら国内での分解は分別にかかる人件費が安くなってしまうため、なかなかこの事業を行う事業所がなかったのです。

しかし、収入の少ない障がい者の方々にとっては収入をアップさせることができる事業であり、近年この事業を行う施設も増えてきています。

県内では、基板事業を行っている施設で「新潟県基板ネットワーク」を設立。各施設とも少人数で解体作業を行っているため、分解できる量には限りがあるところをこのネットワークでとりまとめて、処理事業者に回収してもらっています。



モノ・お金の流れ



「みるみるわかる基板事業」より

突撃インタビュー!!

基板事業の現場!



解体作業を行う方の声

分解もコツがつかめると達成感があります。

最初は分解の仕方がわからなかったけれど、だんだん要領をつかめるようになってくると楽しいです。僕たちの社会復帰の1歩目にもなっています。

のぞみの家・職員 菊入さんの声

責任感や解体手順を考えると考える力が身に付きました。

小型家電を解体するようになって、利用者の方々が仕事を休まなくなりました。責任感を持って作業できるようになったからだと思います。パソコンの解体は最終的には25品目程度の部品に分けなければいけないので、忍耐力も付きますし、やり終えたときの達成感も大きいようです。

この事業を始めてから、協力企業様や直接小型家電を持ってきてくれる方など人の出入りが増えたので、それも彼らにとっては良い刺激になっています。

小型家電を持ち込んだ地域の声

捨てるよりもここに寄付して社会貢献。

この地域の近くに住んでいます。以前、友人からパソコンを持ち込んだという話を聞いて私も今日はプリンターと携帯電話などを持ってきました。これで2回目です。家電量販店に持ち込んで処理するよりも、ここに持ってきた方がみなさんのためになるのであれば、ここに持ってきてみたいと思っています。

さらに新しい取り組みにも挑戦!

城内町町内会との取り組み

町内会では、月に1度市政だよりと合わせて他のさまざまなチラシを挟み込み、町内の皆さんに配布するという作業があります。この作業をのぞみの家でやらせてもらえないかという話があります。

のぞみの家・施設長 高橋さんの声

地域活動支援センターは地域との交流も大きな目的の一つですので、町内からのこのような相談も嬉しく思っています。

持込みに関するQ&A

Q どんな小型家電が持ち込めるの?

パソコン、携帯電話、プリンター、デジタルカメラ、ゲーム機、ゲームソフトなどの電化製品が持込み可能です。ブラウン管テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン等は持込みできません。詳しくは、ながおか市民協働センターHPで右上にある検索窓で「小型家電募集」と検索ください。

Q どこへ持っていけばいいの?

NPO法人 希望の会福祉会・のぞみの家
担当/菊入
長岡市城内町3-5-13 吉川ビル1階
TEL0258-32-5183 (平日8:30~16:30)



中之島でもやっているよ!



NPO法人 虹の家
担当/桑原
長岡市中之島中条丁305-2
TEL0258-66-1538
(平日9:00~17:00)



市民活動ミニセミナー おすすめ図書編

今回ご紹介した図書は協働センターで貸し出しを行っています。

NPOの立ち上げはこれ! 「自分たちでつくるNPO法人」



届出書の作成や、設立申請書類の作り方など設立に関する事項がわかりやすく紹介されています。

NPOの運営マネジメント 「新・共感のマネジメント」



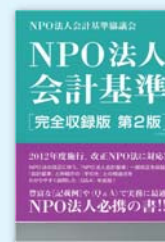
市民活動団体のリーダーやスタッフに知ってほしい組織運営のポイントをまとめています。会員が共感する活動はどんなことかを学べます。

組織診断してみよう 「NPOリーダーのための15の力」



継続的で、安定的なNPO運営のために作られたワークブックです。自らの団体を見直すことができる内容になっております。

NPO会計 法改正対応 「NPO法人会計基準」



会計の方法や財務諸表の作り方、実践を通じたQ&Aが豊富で実務に最適です。

NPO運営の実践ノウハウ 「NPOマネジメント」



組織成長のための人材育成に主眼を置く必読書。現在は終刊しておりますが、全72号のバックナンバーが閲覧できます。



無料配布図書もあります!

「NPO・地域づくりのお悩みヒント集」

①人材編 ②資金編 ③企画・計画編 ④協働編 ⑤広報・PR編
協働センターにて配布いたします。お気軽にお声かけください。



ちょこっと助成金情報 vol.5

締切間近の助成金情報・表彰制度をお知らせ。助成元の想いをつかんだ申請をしよう!



2014年度 JT NPO助成事業

地域コミュニティの再生と活性化に向け!

助成対象活動

非営利法人が日本国内において地域社会の核となって実施する、地域コミュニティの再生と活性化につながる事業を対象とします。よって、地域に根差した活動で、多様な年代層を対象とした取り組みを優先致します。なお、活動分野は問いませんが、環境美化や環境保全、次世代の人材育成に関する活動を推奨します。

助成内容

- ①対象経費:申請事業に関わる事業費及び人件費
- ②限度額:年額最高 150万円/件
- ③助成件数:40件程度

申込方法

ウェブサイトから応募書類をダウンロードして、郵送にてお申込みください。「2014年度 JT NPO助成事業」と検索。

応募締切

平成25年11月20日(11月20日必着)

問合せ

日本たばこ産業株式会社 CSR推進部社会貢献室
TEL:03-5572-4290
FAX:03-5572-1443

今年度助成を受け活動中の団体から感想をお伺いしました。

NPO法人 多世代交流館になニーナ

Q 助成金を使ってどのような活動を行っていますか?

子育て世代が孤立しないよう、家族や地域、職場など様々な人々を巻き込んで子育てを考える機会を作っています。今回は以下の通り様々な講座を実施します。これをきっかけに今までつながらなかった人たちがつながる事を通してどんなことが得られるか、ママ周りの人たちも一緒に考える事ができたらと思っています。

今後のイベント予定

①手しごとカフェスペシャル企画
「バスで行く山古志!」11/22(金) 9:10~14:15
参加費/1,800円(会員1,500円)、子ども(3歳以上)200円
定員/20名(要申込)

内容/アルパカ人形制作実演、鯉ストラップ制作、ロシア料理で会食、山古志のお母さんたちと交流

②子育て世代向けライフプランセミナー
「~私らしく輝ける働き方~」11/5(火) 10:30~11:30
講師/たかのまき先生
(たかの社会保険労務士事務所代表、(株)ワークライフバランス認定コンサルタント)

参加費/500円(会員300円)ナチュラルスイーツ付
定員/15名
内容/"働くママを取り巻く現状"を教えていただいた後に、理想のワークライフバランスを考えましょう。

【お問い合わせ】NPO法人 多世代交流館になニーナ
TEL:0258-28-8627 E-mail/info@ninani-na.com
ホームページ/http://ninani-na.com